

**長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式**

①研究課題名	終末期がん患者の外出・外泊における関連因子の検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>【対象期間】令和元年4月1日～令和2年3月31日</p> <p>【対象者】上記期間において当院で看取りとなったがん患者のうち、作業療法の介入のあった患者</p> <p>【研究責任者】長岡中央総合病院 作業療法士 阿部 康隆</p> <p>*研究の性質上、対象期間はCOVID-19の影響の少ない期間を設定しています。</p>
③概要	<p>【概要】近年は看取りの場として自宅や緩和ケア病棟の割合は増加していますが、病院で最後を迎える患者も依然として多い現状があります。病院で看取りとなる場合も、外泊を行うことは患者様及び御家族の満足度に影響を与えると報告があり、医療スタッフの重要な目標になりえます。当院においても急変等のリスクを考慮しながら、可能な限り外泊及び一時退院を目指す方針となっておりますが、実際に外泊ができるかどうかについては、患者の身体的及び社会的要因により異なります。外泊の可否には様々な要因が関わっていると推察されますが、これまでの経験を後方視的に分析し、どのように要因が影響しているかを明らかにすることで、今後の対応へ示唆が得られると考えます。</p>
④申請番号	第 <b>659</b> 号
⑤研究の目的・意義	本研究の目的は入院中の終末期がん患者において、外泊の可否に関連する要因を検討することです。
⑥研究期間	倫理委員会承認日～令和6年11月30日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	得られたデータは個人が特定されないように匿名化を行い、当院より持ち出さないこととします。そして、結果を公表する際には個人情報が含まれないように配慮します。公表は新潟県厚生連医誌での論文掲載のみとし、その他では行いません。また、データは研究終了1年後に残ることがないように破棄します。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別等の基本属性、他、せん妄・疼痛・呼吸困難の有無、家族の協力の有無、日常生活活動（ADL）の状況、医療的処置必要性の有無、全身状態、日中の活動量など。
⑨利用の範囲	長岡中央総合病院 作業療法士 阿部康隆
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 作業療法士 阿部康隆
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	<p>長岡中央総合病院 作業療法士 阿部康隆</p> <p>住所：新潟県長岡市川崎町 2041 番地</p> <p>電話：0258-37-3700</p> <p>E-Mail:nagareha@nagacyu.jp</p>